

ZVR-35SC

取扱説明書

「ZVR-35SC」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

まず最初に充電します。

初めてご使用になるときは、付属のカー電源コードを使用して、10日ぐらゐ使用しながら充電してください。

本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。

目次

1.安全についてのお願いとご注意	1
2.製品の構成	3
3.主な特長	3
4.各部の名称とはたらき	4
5.取付方法	5
6.電源について	6
7.使用方法	8
8.故障とお考えになる前に	12
9.主な仕様	12

2.製品の構成

お買い上げいただいた「ZVR-35SC」は次の品目から構成されています。

- 本機.....1台
- 取付ステー.....1個
- 両面テープ.....1枚
- カー電源コード.....1本
- 取扱説明書兼保証書(本紙).....1枚

3.主な特長

- 太陽電池搭載
本機は、太陽電池から内蔵のニッカド電池に充電して使用することができます。
- X/Kの2バンド対応
X/KバンドだけでなくKバンドにも対応。すべてのレーダー式スピード取締機に対応します。
- ステルス型取締対応
新開発のハイゲイン・ホーンアンテナと、新開発D.C.回路により、ウィックレスボンを実現。ステルス波に強く対応します。
ステルス波を探知すると、通常とは異なる警告音でお知らせします。
※本機は、ステルス型スピード取締機に対して完全対応というわけではありません。
先頭を走行する際は、くれぐれもご注意ください。
- 2モード受信感度設定
市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路での高速走行時には、遠方からのレーダー波もキャッチするスーパーモードに、走行状況により、ワンタッチで受信感度の設定を切り替えることができます。
- オートアラームカット(AAC)システム搭載
内蔵の振動センサーにより、停車中および低速走行時の不要な警告音をカットします。
- オートパワーオフ機能
約3分間振動が無い状態が続くと、次に振動を検知するまで自動的に電源を切り、電池の消費を防ぎます。
- オートディマース&オートミュート機能
レーダー波を受信したときに、一定時間経過後すると、アラームレベルメーターの明るさが弱まり(オートディマース機能)、警告音の音量が小さくなります。(オートミュート機能)。

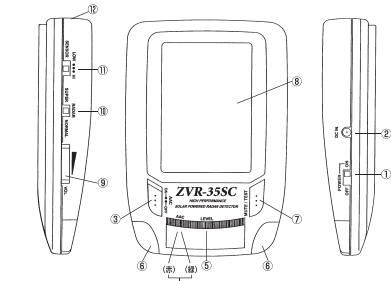
1.安全についてのお願いとご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、「警告」として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の損傷や故障につながるおそれのある事項を「注意」として掲げています。また、「機能上の制約」についても説明しています。

警告 (人身の安全のためにお守りいただくこと)

- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。**
本機は、運転の妨げにならないように、フロントガラスに取り付けてください。また、取り付けの際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
- 本機を濡らさないでください。**
水につけたり、水をかけないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
- 車を運転中に本機を操作しないでください。**
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。特にAACの設定(→P.8)時の操作も、停車中におこなってください。
- ケースは絶対にあけないでください。**
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
- スピードの出すぎにご注意ください。**
本機を取り付けの走行中のスピード違反に關して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
- 発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。)そのまま使用しますと、火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身の修理は絶対に避けてください。

4.各部の名称とはたらき



- ①電源スイッチ
本体の電源をON/OFFします。
- ②電源ジャック(DC IN)
充電時などに、付属のカー電源コードを接続します。
- ③AACスイッチ
AAC(P.8)をON/OFFします。
- ④AACランプ(AAC)
本機に電源が入ると、点滅を開始します。振動が多くなると、緑色のランプが点滅します。振動が少なくなると、赤色のランプが点滅します。AACスイッチがOFFのときは、赤、緑両方のランプが点滅します。
- ⑤アラームレベルメーター(LEVEL)
レーダー波の種類や受信強度により、ランプの点灯数が変化します。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、ランプの点灯数が増えます。(P.10)
- ⑥アラームランプ
レーダー波を受信すると警告音にあわせて点滅します。
- ⑦ミュート/テストボタン(MUTE/TEST)
レーダー波を受信中は警告音を停止します。レーダー波を受信していないときは、アラームテスト(→P.8)をおこないます。

注意 (けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

- 衝撃や強い振動を加えないでください。**
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
- 動作範囲内の温度条件下でご使用ください。**
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。
- 高温時の取り扱いにご注意ください。**
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなりの高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。
- ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。**
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際は必ず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

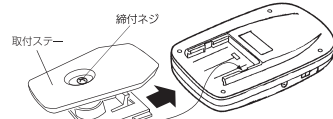
機能上の制約

- 日本国内で使用してください。**
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電圧方式、電源電圧が異なりますので、使用できません。
- マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。**
本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤー式などのスピード取締機には対応していません。
- 周囲の環境により、受信しない場合があります。**
前方に走行中の車(とくに大型車)がいる場合や、カーブ、坂道、路面電車などの高圧線の付近などでは、電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは、とくに注意してください。
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。**
取締レーダー波以外にも、同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドアおよび車両通過計測機、港湾、航空レーダーに対して反応する場合がありますが、故障ではありません。

- ⑧ソーラーパネル
- ⑨音量調節つまみ(VOL)
警告音の音量を調節します。
- ⑩受信感度切りスイッチ
レーダー波の受信感度の設定を切り替えます。(ノーマル/スーパーの2段階)(→P.8)
- ⑪振動センサー感度切りスイッチ(SENSOR)
振動センサーの振動検出感度を3段階に切り替えます。(→P.9)
- ⑫レーダーアンテナ部
レーダー波を受信します。

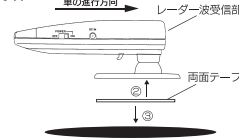
5.取付方法

- ①付属の取付ステーを本体裏面のステー装着部に差し込み、矢印の方向にスライドさせながら取り付けます。



②注意
取付ステーの締付ネジが締め本機が傾かないように、プラス(+)ドライバーを使用し、締付ネジを締め付け、固定してください。

- ②取付ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
- ③両面テープのもう一方の面をダッシュボードへ貼り付けます。この時、レーダー受信部が車の進行方向の向きに貼り付けます。



保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。発送にかかると費用をお客様にご負担いたします。

※印刷に記入が無い場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

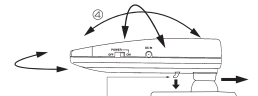
ZVR-35SC	
保証期間	※ お買い上げ年月日 年 月 日から 1年間
※お名前	氏名 様
住所	〒 電話
※お名前	氏名 様
住所	〒 電話

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

株式会社 マルハマ

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4丁目43番地4
●製品についての問い合わせ先
マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
TEL 045-2611-2687
営業時間 月～金 9:00～12:00/13:00～18:00 (土日祝日を除く)

- ④本体の角度を地面と水平になるように調整してください。前後、左右レギュラーに調整できます。



- ※取付ステーを取り外す時は、取付ステーの下面のソメを軽く押し下げて、横にスライドしてください。この時、強い力を加えないでください。ステーが破損する場合があります。

ご注意

- レーダー波受信部の前方に、金属やゴムなどの障害物がない場所に取り付けてください。
- エアバックの妨げにならない場所や運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- 取り付けの際に本機が落下しないようにしてください。
- 長時間ご使用にならない時は取り外してください。

6.電源について

本機はソーラー電池と充電器とを兼ねたソーラーバッテリーのみの駆動は致しません。ソーラーバッテリーは専用の充電器を補助充電できる高のものです。

- 1. ご使用になる前に
はじめてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードを使用して、10日ぐらゐ使用しながら充電してください。

- 2. 太陽電池について
 - 電源が入っていないにもかかわらず充電されます。(電源はOFFの状態)
 - 晴天時は、約1時間程度で満充電になります。
 - 満充電後は、まったく充電されない状態で約7時間連続動作します。(受信待受時)
 - 太陽電池で十分な充電ができない場合は、カー電源コードをご使用ください。

ご注意

- 夏季や冬季の駐車中では、車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。そのため電池の充電時間が変化することがあります。
- 雨天・曇天時や夜間などでは、十分に充電できません。
- ソーラーパネル全面に太陽光が当たらないと、十分な充電ができません。
- 冬など太陽光が弱い場合は、充電しにくくなる場合があります。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、取り付け・接続説明書・取扱説明書に従った正常な取り付け・接続・使用状態で故障した場合には無料修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
- 次のような場合には保証期間内であっても有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
(ハ) 火災、地震、水害、公害、規定外の電源(電圧・周波数)の使用、その他天災地変などによる故障及び損傷
(ニ) 特殊な条件下など通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
(ト) 保証書での指示がない場合
(チ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ (症状をなるべく詳しくご記入ください「故障内容」取り付け車種・年式)

3. バッテリーローアラーム

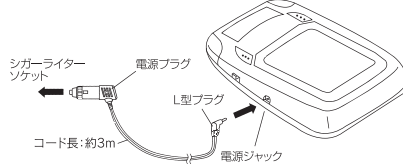
電池が消耗したときに、約30秒ごとにブザー音でお知らせします。その場合は、カー電源コードで充電してください。

4. オートパワーオフ機能について

停車中や駐車中など、振動の少ない状態が約3分以上続くとき、自動的に動作を停止します。
※車を動かして、振動が大きくなると、動作を再開します。

5. カー電源コードで充電・使用するには

- 電源の接続
付属のカー電源により、本体に電源を接続します。
●カー電源コードの、L型プラグを本機の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットに、それぞれ差し込みます。



ご注意

- シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因となりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは、かならず付属のものをご使用ください。

6. 電池の寿命について

本体内部の充電電池は、使用状況にもよりますが、約3年が寿命です。十分に充電しても、充電電池のみでは長時間動作しなくなった場合は、充電電池が寿命になっています。
その場合は、付属のカー電源コードをご使用になることで、通常通り動作させることができます。

警告

■高温時の取扱いにご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる場合には十分ご注意ください。

※ステルス型取り締まりについて

他の取締機と同じ電波(Xバンド)を使用していますが、事前に探知されないように、普段は電波を出さず、取り締まりのときに、短時間強い電波を放射して速度の測定をする、狙い撃ち的な取り締まり方法です。
従来機では、先頭ではなく2番手以降で走行していても、一瞬しか警告音が鳴りません。



車両特定 → 速度測定電波発射 → 速度記録 → 停止係

ご注意

- 本機は、ステルス型取り締まりに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する場合は、くれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合は、周囲の状況などにより、ステルス専用アラームが鳴る場合もあります。

取締レーダー波を受信しにくい場合

■電波の放射方法や周囲の環境などにより、取り締まりレーダー波を受信しにくい場合があります。

- 前方に走行中の車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道、路面電車などの高圧線の付近では、電波が遮断されるため、レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂などでは、とくにご注意ください。
- 対象となる車が近づくと電波を放射ししない、狙い撃ち的な取り締まりができて、ステルス型の速度取締機があります。

ご注意

- 電波式の自動ドア、信号機附近に設置されている車両通過計測器などには、取り締まりレーダー波と同じ種類の電波が使用されています。そのため、これらの機器附近で、レーダー探知機が反応するのは避けられせん。「いつとも鳴るから」と安心せずに、ご注意ください。

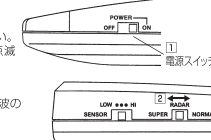
7.使用方法

注) 最初に必ずおこなうこと。

はじめてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードを使用し、10日くらい使用しながら内部のニッカド電池を充電してください。電源スイッチを「OFF」にして充電すれば数時間で満充電になります。本機電池のみでの充電は、晴天時、電源がOFFの状態、約18時間かかります。

1. 操作方法

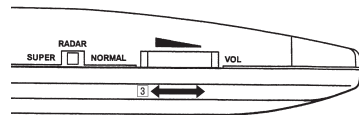
- 電源を入れます。
電源スイッチを「ON」にしてください。
ブザー音が鳴り、AACランプが点滅し始めます。
- レーダー波の受信感度を設定します。
感度切替スイッチにより、レーダー波の受信感度の設定を切り替えます。



受信感度の設定目安

受信感度	走行場所
ノーマルモード	市街地走行時
スーパーモード	高速道路、自動車専用道路走行時

- 音量を調節します。
レーダー波を受信していないときにテスト/ミュートボタンを押すと、警告音が1サイクル鳴りますので(アラームテスト)、その間に音量調節つまみを回して、適度な音量に調節してください。



8.故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	●電池が消耗している ●オートパワーオフ機能がはたらいている → 振動センサーの感度を高く設定してください
充電できない	●太陽光が十分ではない → カー電源コードで充電できるか確認してください ●カー電源コード内部のヒューズが切れている → 新しいヒューズと交換してください ●ニッカド電池の寿命
受信しない(音がでない)	●受信感度の設定がノーマルモードに設定されており、かつ電波が弱い場所にいる → スーパーモードに設定してください ●AACがはたらいている → 振動センサーの感度を高く設定してください ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●レーダー式取締機に電源が入っていない
取締以外で警告音が鳴る	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響 ●バッテリーローアラームが鳴っている

9.主な仕様

- 電源電圧……………DC3.6V ニッカド電池
DC 12V 外部電源(充電器兼用)
- 受信周波数……………Xバンド/Kバンド
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイン
- 受信感度……………Xバンド -110dBm/スーパーモード
Kバンド -105dBm/スーパーモード
- 動作温度範囲……………-10℃～+60℃
- 外形寸法……………70(W)×103(D)×22.5(H)mm
※突起物含まず
- 質量……………約100g

2. オートアラームカット (AAC) システムの使用法

① AACのはたらき

本機に内蔵されている振動センサーにより振動を検出することで、停車中および低速走行時は警告をカットし、電池の消耗を抑えます。
※約3分間振動のない状態が続くと、自動的に電源が切れます。(→P7 4.オートパワーオフ機能について)

② AACの使用法

AACスイッチで、AACのON/OFFを切り替えます。
AACがOFFのときは、AACランプが赤、緑両方で点滅します。



③ 動作確認

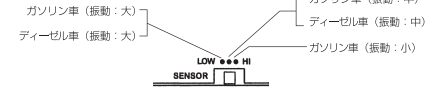
- AACをONにします。
AACランプが赤、緑両方点滅している場合は、AACをONにしてください。
- 車を走行させます。
車を走行させて、赤色のランプから緑色のランプに点滅が変わることを確認してください。
- 走行速度を落とします。
アイドリング状態で、緑色のランプから赤色のランプに点滅が変わることを確認してください。
- 停車します。
停車してから約3分後に、すべてのランプが消灯することを確認してください。(オートパワーオフ?)
- 車を走行させます。
車を走行させてから数秒後に、AACランプが点滅することを確認してください。

※図②～⑤に正常に動作しない場合は、振動センサーの感度を切り替えてください。
※走行しても緑にならない時は振動センサーの感度を高くしてください。
※アイドリング状態で赤にならない時は振動センサーの感度を低くしてください。

④ 振動センサーの感度設定について

ご使用になる車種や、取り付ける場所に応じて切り替えてください。
振動センサーの感度設定により、AAC、オートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。このような場合は、本機の取付場所を変更してみてください。

●振動センサー感度設定の目安



メモ